

女傑であれ！

顎顔面口腔外科 高木律男

新潟大学歯学部同窓会会員、特に女性の皆様、ご無沙汰しております。顎顔面口腔外科（旧第二口腔外科）の高木です。今回「なつかしの先生コーナー」として同窓生に馴染みのある先生」ということで同窓会女性会員支援部より原稿依頼をいただきました。10期生として1980年に新潟大学歯学部を卒業し、1998年12月に教授に就任させていただいてから既に20年が過ぎますので、多くの同窓生の皆様にお世話になったとこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。以下、関係団体での女性陣の様子を含めて自己紹介させていただきます。

10期生は1974年（昭和49年）に入学した40人クラスで、女性はわずかに5名でした。残念ながら既にうち2名が逝去しました。同級会は「てんでん会」と称して2年に1回開催されており、今年は10月初めに東京で開催です。女性陣としては奥様とともに出席している同級生も多く、にぎやかな会となっています。

学生時代の部活はサッカー部でしたので、現在は後援会長を仰せつかっています。私の現役時代には女子部員はほとんどいませんでしたが、少し後からマネージャーとして入部がありました。現在は口腔生命福祉学科で女性が増えたこともあり、毎年増加しています。本当にありがたいことで女性の力は強く、そのバックアップでデンタルでも勝ち進むことが多くなっているように感じます。ちなみに今年はデンタル4位入賞で、祝賀会で美酒に酔いしれました。

趣味で続けているゴルフが幸いし、もう一つの部活としてゴルフ部の顧問もさせてもらい、学生との交流の場となっています。男子部員の中にもデンタルで活躍した学生がいましたが、女子はデンタルの団体優勝や時期を別にして個人での5年連続優勝（最後の年は二日目途中中止で惜しくも2位・実際には優勝と信じています）など良い成績が記憶に残っています。

また、私は生まれが長野県飯田市、飯田高校の出身であることから、長野県人会にも毎年参加させてもらっています。群馬県の「かかあ天下とからっ風」（歯学部の女性の皆さんは大丈夫と信じてます）などと違い、長野県の女性が強いというのはあまり聞くことはありませんが、歯学部の長野県人会に所属する女性は酒にも強い女傑（女傑とは、「しっかりした気性とすぐれた知恵をもち、実行力に富んだ女性（広辞苑）」です。）が多いようです。おかげでいつも大宴会状態です。新入生は歓迎会で引くくらいですが、この会は出身県で所属が決まるため卒業まで抜けられませんので、気が付くと女傑となっています。

こんな形で歯学部関係者（現役や卒業生など）とのかかわりを持っているため、新人歓迎会、デンタル壮行会、卒業生追いコンなどなど、宴会続きの月が多いと感じます。学生時代が終わると私生活にも仕事にも追い立てられ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。皆さんも忙しいとは思いますが、新潟大学歯学部卒業の女傑として各地区、各方面で元気で活躍してくれることを祈っています。

写真：アジア口腔外科学会（フィリピン）にて

